

ベラルーシ公開情報とりまとめ

(12月12日～12月18日)

2022年12月28日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●アレインク外務大臣の任命(12月13日)

●欧州連合(EU)がミンスク在住の北朝鮮人に制裁(12月12日)

【ルカシェンコ大統領動静】

●高官人事(12月13日)

・アレインク外務大臣(前第一外務次官)

・ルキヤノヴィチ空軍・防空軍司令官(前同副司令官)
(12月13日 大統領府)

●一部の法律を改正憲法に適合させる問題に関する
会合

・全ベラルーシ国民会議に関する法律につき協議。
・また大統領は国政に参加する政党に関し、内政・外交の基本原則に適合する活動を行う政党のみが存在しなければならず、各党は全ベラルーシ国民会議によって策定される戦略を遵守しなければならない旨強調。
(12月13日 大統領府)

●ベラルーシ・ロシア二国間協力に関する会合

(1)概要、出席者

・12月19日のプーチン露大統領のミンスク訪問に備えて開催。
・セルゲエンコ大統領府長官、コチャノヴァ共和国院(上院)議長、ゴロフチェンコ首相、スノプコフ第一副首相、パルホムチク副首相、アレインク外務大臣、フレニン国防大臣、パントウス国家軍需産業委員会委員長ら高官19人が出席。

(2)大統領は要旨以下を述べた

・来るベラルーシ・ロシア両国首脳会談の主要なテーマは経済。経済発展、金融システムの安定、ベラルーシ・ロシア両国民の福祉に直接関係する問題につき首脳レベルで詳細に吟味する。
・来る首脳会談において、両国を巡る軍事的・政治的状况、軍需産業、防衛能力等について協議するのはもちろんだが、重要なことは経済である。

・ベラルーシ・ロシア連合国家プログラムの約60%が実行されている。これらプログラムがベラルーシ・ロシアの主権や独立に抵触することなど決していない。
・ベラルーシ・ロシア両国統一ガス市場を形成するためのプログラムは、残念ながら実施されていない。とはいえ重要なことは、エネルギー資源の価格ではなく、両国の企業にとって条件が対等であること。ベラルーシでもロシアでも価格が同一であること。

(12月16日 大統領府)

【外交】

●アレインク外務大臣が各国外務大臣と電話会談

外務大臣が電話会談を行った相手は以下のとおり。

・ラヴロフ露外務大臣

・トルトサ・ベネズエラ外務大臣

・バイラモフ・アゼルバイジャン外務大臣

(12月14日、15日 外務省)

●アレインク外務大臣がグレイズロフ駐ベラルーシ露大使と会談

ベラルーシと露の協力に関する喫緊の課題や、今後の首脳会談や両国外務省の接触につき協議。

(12月16日 外務省)

●欧州連合(EU)がミンスク在住の北朝鮮人に制裁

・制裁対象はミンスク在住の北朝鮮籍の男性。

・同人はミンスクにおいて北朝鮮「第2自然科学院(SANS)」と直接関係のある組織の代表を務める。同人は本年5月27日に米国からも制裁を科されている。

・「第2自然科学院」は北朝鮮のミサイルや恐らくは核兵器を含めた先進兵器体系の研究開発に携わる国家機関。同学院は2013年から国連による制裁対象。

・2022 年 5 月 27 日、米国財務省外国資産管理室 (OFAC) は、この北朝鮮人男性を制裁対象としている。
(12 月 12 日 EU 官報、Reform.by)

【内政】

●情報省は、経済紙「ベラルーシ人と市場」の登録を取消

・同紙は Telegram 等、インターネット上で活動を継続。
(12 月 12 日 「ゼルカロ(鏡)」)

●12 月 16 日現在の政治犯の数は 1,441 人

(12 月 16 日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

【治安・軍事】

●ロシア国防省は、ベラルーシ国内で市街戦の訓練を実施中である旨発表

(12 月 12 日 ロシア国防省)

●ロシアからベラルーシへの兵器の移動

・12 月 10 日、露コストロマ州グイからヴィテプスク州レペリ近郊に T-72B3 戦車 13 両が到着。

・12 月 12 日、露チェリャビンスク州チェバルクリからブレスト州バラノヴィチ近郊にトラック 30~40 台が到着。

・MiG-31K 戦闘機 3 機がミンスク市郊外のマチュリシチ飛行場に飛来。この 3 機には空中発射弾道ミサイル「キンジャル」(射程 2,000km) の運用能力あり。

・12 月 14 日、露ヴォロネジ州オストログシスクからブレスト州バラノヴィチ近郊にトラック 26 台、油槽車、BMP-2 歩兵戦闘車 4 両等が到着。

・12 月 14 日、A-50U 早期警戒管制機(AWACS) がミンスク市郊外のマチュリシチ飛行場に飛来。

(12 月 12 日~14 日 「ベラルスキ・ハユン」、「Live ベラルーシ鉄道員協会」、Reform.by、「ゼルカロ(鏡)」)

●戦闘準備態勢の抜き打ち点検の実施

・ルカシェンコ大統領の指示によるもの。

・所定の地域への最短時間での移動、工兵隊による施設の設置、防御の実施、ネマン川及びベレジナ川での架橋等を実施。

(12 月 13 日 国防省)

●内務省は特殊部隊「スメルチ(竜巻)」を運用開始

・破壊工作・諜報集団や非正規武装勢力に対処。

(12 月 17 日 内務省)

●押収したヘロイン 500kg 以上を焼却

・ヘロインは、果物を装ってイランからロシア経由で持ち込まれたもの。

・最終仕向地は欧州で、ベラルーシは積み替え地。

(12 月 13 日 捜査委員会)

●ベラルーシから欧州への不法越境の試み

(12 月 12 日~12 月 18 日)

・リトアニア国境警備局は少なくとも 64 人を阻止。

・ラトビア国境警備隊は少なくとも 295 人を阻止。

・ポーランド国境警備隊は少なくとも 272 人を阻止。

(12 月 13 日~12 月 19 日 BPN)

【経済】

●ベラルーシ原発の公式サイトで同原発敷地の放射線モニタリングの情報公開を開始

(12 月 14 日 エネルギー省)

●独企業「シーメンス」がベラルーシから撤退へ

・同社ベラルーシ支社は、撤退後の同社製品の保守点検を行う企業に関する問合せにコメントせず。

(12 月 16 日 Office Life、Reform.by)

●エストニア国営鉄道「Operail」は、2023 年 1 月 1 日よりロシア・ベラルーシからの貨物の取り扱いを停止

(12 月 13 日 「ゼルカロ(鏡)」)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表のフィンランド訪問(12 月 13 日、14 日)

・ハーヴィスト外務大臣の招待によるもの。

・ニーニスト大統領、マリン首相、ヴァンハネン国会議長らと会談。

(12 月 15 日 チハノフスカヤ氏公式サイト)

●オレグ・グラク人権団体「ベラルーシ・ヘルシンキ委員会」代表が死去

(12月16日「ゼルカロ(鏡)」)

【その他】

●ベラルーシ国立大学(BSU)のチームが国際大学対抗プログラミングコンテスト(ICPC)の世界大会進出へ

・12月7日、露サンクトペテルブルクで、国際大学対抗プログラミングコンテストのユーラシア北部地区大会が開催され、ベラルーシ国立大学(BSU)のチームが優勝。2023年11月にエジプトで開催予定の世界大会への進出が決定。

・同地区大会には、ベラルーシ、ロシア、アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタンから大学生が出場。

(12月12日 ベラルーシ国立大学(BSU)、「ゼルカロ(鏡)」)

(了)